

古屋拉致問題担当大臣記者会見要旨

日時：平成25年11月15日（金） 8:53～8:58

場所：内閣府本府1階118会見室

1. 発言要旨

どうもおはようございます。

まず、私からは台風26号による激甚災害の追加指定、今日閣議決定をいたしました。大島町を対象に、いわゆる早期局激の指定を行いました。公共土木関係の復旧関連でございます。

もう既に火曜日に決定をしたということは発表いたしておりますが、今日、正式に閣議決定をしたということで、改めて発表をさせていただきます。

私からは以上です。

2. 質疑応答

（問）TBSテレビの丹羽と申します。

36年前の今日、横田めぐみさんが北朝鮮に拉致されたのが11月15日ですけれども、大臣の救出への思いをお伺いしたいのと、あと、最近、横田夫妻と何かお話しになったりとか、もしされていれば。

（答）36年ですよ。49歳になられたということですね。

実は、もう既に今週火曜日に発表していますけれども、12月16日に拉致問題のチャリティーコンサートをやります、このときにピアノを弾いてくださる熊本マリさん、この方はお誕生日が横田めぐみさんと10日違い、同じ歳で、彼女も打合せのときに言っていました。自分が13歳のときのことを思い起こすと、36年間ずっと北朝鮮に囚われの身でいるということを、ちょっと自分でもその世界は想像を絶する世界だということをおっしゃっていました。そういう声を聞くにつれ、安倍内閣のもとで絶対に取り戻そうということを総理も、もちろん拉致問題担当大臣の私も、そして国民の皆さんも、そんな気持ちになっているんじゃないでしょうか。我々の責務は、全員の被害者を取り戻す、これに尽きると思います。そんな気持ちを新たにしました。

（問）最近、横田家とお話しになったり。

（答）定期的に家族会の皆様とはお話ししておりますので、数週間前ぐらいだったと思いますけれども、この一兩日はお話ししていませんけれども、定期的にいつもお話をして意見交換をさせていただいております。

（問）NHKの川田です。

関連なのですけれども、今日も横田御夫妻は新潟の集会で、改めて救出への訴えを思いを述べられることになる。

大臣としても、またとないチャンスが今安倍内閣で、大臣もいらっしゃって、総理もいらっしゃって、またとないチャンスだと思うのですが、改めてもう一度決意のほどという

の一言いただきたい。

(答) これは全員の拉致被害者を取り戻す。その揺るぎない決意を我々は行動に移していく。そして、このことは必ず北朝鮮にも伝わります。北朝鮮はしっかり悟って、拉致被害者を戻さなければ、あの国は立ち行かないということをはっきり悟らせるということだと、これに尽きると思います。

(以 上)